

審議会会議録

審議会等の名称	第1回 瑞穂市行政改革推進委員会
開催日時	令和5年5月11日(木曜日) 午後6時00分から午後7時50分
開催場所	瑞穂市役所 穂積庁舎3階 第1会議室
議題	(1) 事業仕分けの導入について 事業選定方法について
出席委員 欠席委員	出席委員 7名 高梨文彦会長、吉田敏之副会長、神村利美委員、 辻正益委員、林哲哉委員、福井宮子委員、 森下伊三男委員 欠席委員 服部幸彦委員
公開・非公開の区分 (非公開理由)	公 開 ・ 非 公 開
傍聴人数	0人
審議の概要	<p>開会</p> <p>【事務局】 自治会連合会より推薦の委員退任(水野賢司氏)の報告</p> <p>【事務局】 委員総数8名に対し過半数を超える6名の出席があり、瑞穂市行政改革推進委員会設置条例第6条第2項の規定に基づき会議が成立していることを宣言した。(※1名が遅刻出席し7名となった。)</p> <p>【会長】 あいさつ 傍聴希望者の確認(傍聴希望者なし)</p> <p>議題(1)事業仕分けの導入について</p> <p>【会長】 議題(1)について、事務局の説明を求めた。</p>

【事務局】

議題（１）事業仕分けの導入についての説明を行った。

【会長】

資料１事業評価シートの内容について、委員に意見を求めた。

【Ａ委員】

何かこのシートに対する記入要綱みたいなものを作って、新規と一緒に渡すという考え方でよろしいでしょうか。

【事務局】

見本で記入例を作成し、募集しようと思っております。

【Ｂ委員】

例えば今回の場合の霊柩車の運行に関わる事業の中で、会計年度任用職員で人件費が挙がってくると、これは人件費を低く抑えていますよということが言いたいと思われる。比較論を言えばほかの全事業も常勤職員が何名従事していて、それが平均単価で計算する。しかし実際は複数を兼務していれば算定は難しい。そうすると、会計年度任用職員だけ人件費を入れるということでもいいのでしょうか。

【事務局】

正職員の場合ですと、人件費は給料だけではなく期末手当やほかの手当がある。兼務をしたり、割合もある。霊柩車の運転手が会計年度なので、比較的特定しやすい。こういう場合のみ記入していただく。兼務等の事業の場合の記入はしなくていいと思います。今回はこの事業に必要な運転手なので必要事業費に含まれます。

【Ｂ委員】

会計年度任用職員と正職員で行っているときに、会計年度任用職員の人件費のみを計上するのは比較ができなくなるが妥当なのか
例えば学童保育の場合、現場は会計年度任用職員であるが管理は教育委員会で正職員が行っている。こういう場合はどうするか。ルール決めが必要。
会計年度任用職員のみが従事していて特定できる場合のみ計上するのはどうか。

【事務局】

いいと思います。

【Ｂ委員】

本来予算で一般財源を入れる額が決まっているが、この表は決算ベースなので、一般財源を収支差としたということは、単純に一般財源で穴埋めした赤字補てん分を示しているということですね。

【事務局】

はい。今回選定する事業の財源はほとんどが一般財源であると理解していただき、評価をお願いします。

【Ａ委員】

シートの中の今後の方針について、改善しながら継続などの方針となった場合に３年後に再評価などがあってもいいのではないのでしょうか。

【Ｂ委員】

期限を区切って再評価することはよいと思う。また、休止と廃止の使い分けをしないと違いが分かりづらくなるのではないのでしょうか。休止は復活はありますか。

【事務局】

廃止は事業終了でわかりやすいが、休止は難しいですね。休止は復活もあります。

【B委員】

条件は外すが、人的資源は別として物的資源はとりあえず留保するというのが休止で、除却するというのが廃止ですということだったらこの区別は意味があります。

【E委員】

休止の場合は何年かで区切る必要があります、休止した結果市民の皆さんからどのような反応があるかを踏まえて復活するのか、廃止とするのか判断が必要です。

【事務局】

事業選定方法にて基準作りをしていきたいと考えます。

【C委員】

「現状のまま継続」以外は同じような状況が発生すると思います。縮小拡大のその後どうなったかはこちらの方で確認が必要かと思います。

おおむね3事業というのは3事業ぐらいしか選定ができないという物理的な問題で3事業になっていると思いますが、3事業の選定プラス3年前の事業の継続以外のものがすべて上がってきてしまい6事業を評価するというのでしょうか。

【事務局】

再評価のものはすべて3年後とし、1回再評価をしたらその次はなし。3年後のみ見るという形なら多くても6事業となります。

【C委員】

合計で最大6事業評価できるのであれば賛成です。

【E委員】

シートの中の民間事業者について、事業者名は●●と伏せてシートを作成するのでしょうか。

【事務局】

今回は調べ切れていないので●●と表記しているが、実際の会議の時は出します。公表する際には黒塗りとなることもあり得ます。

【会長】

資料2事業選定の基準について、委員に意見を求めた。

【B委員】

①市単独事業（国、県の補助金を受けていない事業）とありますが、国や県の補助金ではなく、負担金が入っている事業や、委託を受けて瑞穂市が実施している事業はありますか。

【事務局】

県から委託を受けている事業はあります。これについては、財源があるため市単独事業には該当してきません。補助金等とするほうがよいのでしょうか。

【E委員】

負担金を受けている事業は市の判断だけでやめることはできますか。

【事務局】

できません。

【E 委員】

まずは市だけで判断できるものから評価するということでよいと思います。

他の質問を求めた。

【B 委員】

「費用に見合わない」や「収入に見合わない」という表現はありますが、「費用対効果に見合わない」という表現が日本語として変だと思います。

【事務局】

「見えない」は言い過ぎでしょうか。費用対効果が「見えにくい」というのはいいのでしょうか？

【B 委員】

「見えない」は言い過ぎかと思いますが、見えにくいはいいと思います。

【D 委員】

費用対効果とするとつながっているイメージであるので、1つ1つ切るような言葉でこの事業を表示していくほうがよい、もう少し具体的に言葉としての的確な日本語がよいかと思います。

【E 委員】

費用対効果というこのまとまった言葉がなかなかイメージしづらいです。この費用に対して得られる効果が見合わないというように開いて表現したほうが良いと思います。

【事務局】

費用に対して効果が見合わないという表現ではどうでしょうか。

【B 委員】

あともう1点「過去には公の実施のみであった」とすると、過去から民間と並行していたものは除かれてしまうのではないのでしょうか。

【A 委員】

現在が省かれてしまっています。

【事務局】

現在両方やっているということでいいでしょうか。「過去には公の実施のみであったが、現在は」を省きます。

【A 委員】

「対象者が限定され、固定されている。」とあるが、対象者が限定されていても固定化されていなければいいのでしょうか。

【B 委員】

対象者が限定されまたは少ない事業としてはどうでしょう。

【事務局】

利用者が限定され、または利用者が少ないということによろしいでしょ

うか。

【B委員】

また、「意義が失われている」まで言い切ってしまうのか、「意義が少なくなっている」のか、「失われている」では意義がゼロとなった表現となります。

【E委員】

「意義が失われている」ならやめて当然ですね。

【C委員】

「意義が失われつつある」はいかがでしょう。意義が失われつつあるにもかかわらず実施している。逆に言うとその意義がまた見いだせれば事業収益が上がってきてまた再開できる可能性もあるということですね。

【事務局】

「失われつつあり」でよろしいでしょうか。

【B委員】

令和元年度以前に開始された事業で過去3年以上実績のあるものが対象ですね。

【事務局】

これは3年程度実績がないと比較ができないという事です。

【B委員】

比較ができなくても過去3年以上実績がないものはあるのではないのでしょうか。

【事務局】

利用者の実績がないものではなく、実績は費用としての実績、事業費があります。過去3年以上事業費が計上されているという意味です。

【D委員】

事業選定方法で全庁へ照会するという事は、ある程度ピックアップしたものを出すのか、事業課から採算がとれていないものを探して出してもらうのかどちらかですね。

【事務局】

両方です。各担当課から意見をききたいという事業もいいし、大前提はこの基準ですの見合ったものを、選定基準に該当するものがあればまず各担当課でだしてもらい、なければ財政当局でピックアップしていく予定をしています。

【C委員】

継続以外の事業に対して3年後に再評価するのは、この選考方法にプラスしていくということでしょうか。

【E委員】

おそらく新規で選定されるものが過去3年以上経過しているものなので、改善したものを3年でもう1度みて、どのように変化があったかをみていく必要があります。

【事務局】

3年後の再評価は「現状のまま継続」以外の項目でよろしいでしょうか。

【C委員】

「現状のまま継続」は再判定必要ないのではないのでしょうか。

【事務局】

1回評価されたから2回目の評価対象にならないわけではなく、「現状のまま継続」のものも悪化すれば別問題としてピックアップします。

【B委員】

「現状のまま継続」としても結局ある年に、この選定基準でフィルターをかけた時に、候補としてあがってくることもありえますね。

【C委員】

どのように改善したのかについて議論をして、どう拡大したか、どう縮小したかは知っておくべき、選考して終わりでは無責任だと思います。

【事務局】

選定基準に入れるか、入れるとしたら項目として4番目にいれたほうがよろしいでしょうか。

【E委員】

3番目が初めて選定される事業で、4番目が見直し（再チェック）という事でいいかと思えます。

【C委員】

廃止はその後審議対象とはならず、休止が審議対象ということでよろしいでしょうか。

【事務局】

今後の方針の2～5が審議対象となり、廃止は対象ではありません。

【会長】

新たに選定する3事業は、この数字についてはいかがでしょうか。

【B委員】

物理的に3事業というところの説明をお願いしたい。この委員会にどのくらいの負荷がかかるのか事業数が多いのか少ないのか評価しづらいと思えます。

【事務局】

シートを1つずつ説明をして審議していくと1事業30分程度はかかってくるため、3事業程度が適当かと判断しました。負担がない程度で少しずつ行っていきたいです。

【会長】

場合によって担当課にお越しいただいて説明いただく可能性もあるとなると、1回の評価について複数日程を用意しないといけないという事もあると思えます。
実際開催してみないと分からないという事もあるので、初年度は3事業で始めて、負担が少ないという事であれば少し増やすということもあるかと思えます。

【B委員】

了解しました。

【会長】

本日の議題は以上となります。

【事務局】

今後のスケジュールについて説明を行った。

次回会議を令和5年9月21日（木）18時00分より開催することとした。

閉会

事務局
(担当課)

瑞穂市 総務部 財務情報課
TEL : 058-327-4131
FAX : 058-327-4103
e-mail : zaimu@city.mizuho.lg.jp